※令和４年度以降入学生用

学校番号	412

令和８年度　グローバル科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
グローバル	英語超人Ⅲ	4	3	必携英単語 LEAP Heartening English Communication Ⅲ Heartening English Communication ⅢWorkbook 2027 大学入試共通テスト英語【リーディング】対策　Reach 40 2027 大学入試共通テスト英語【リスニング】対策　Reach 30 共通テスト対応英語速読 10 分テスト　READING CORE　for 共通テスト 別冊ノートなし 大学入試ランダムチェック　英文法・語法の総仕上げ　The Reflex　New Edition 大学入学共通テストリスニング対策設問形式別オリジナル問題集 Listening Ace 10 UPGRADED 3 訂版 Bright Stage 英文法・語法問題 New Edition Vision Quest Insight 英文法・語法・熟語問題集

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英語超人Ⅲの授業は、「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」という４技能の力をつける授業です。インプット(聞くこと、読むこと)したことを基に情報や自らの考えなどについてアウトプット(話すこと、書くこと)をする活動を多く行います。
・英語の語彙については、アクティブ(アウトプットする際に使えるようになるべき)な単語やパッシブ(英語を読んだり、聞いたりする際に理解できるようになるべき)な単語を意識して学習するようにします。

※令和４年度以降入学生用

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。	日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。	日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続け、会話を発展させることができるようにする。社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合うことができるようにする。	日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。	日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。

３ 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Lesson 1 “What Makes Up Your Identity?” Lesson 2 “Predicting Future Technology”	聞くこと	a: アイデンティティを形成する要素について、ならびに 100 年後の科学技術の予測について聞き，その内容を理解する技能を身に付けている。 b: アイデンティティを形成する要素について聞き，概要を捉えている。100 年後の科学技術の予測について聞き，概要を捉えている。 c: アイデンティティを形成する要素について聞き，概要を捉えようとしている。100 年後の科学技術の予測について聞き，概要を捉えようとしている。	授業内課題
		読むこと	a: アイデンティティを形成する要素について、ならびに 100 年後の科学技術の予測について読み，その内容を理解する技能を身に付けている。 b: アイデンティティを形成する要素について、ならびに 100 年後の科学技術の予測について読み，概要を捉えている。 c: アイデンティティを形成する要素について、ならびに 100 年後の科学技術の予測について読み，概要を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと	a: アイデンティティを形成する要素について、ならびに 100 年後の科学技術の予測について，事実や自分の考えを整理して伝えたり，相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。 b: 質問の意図を理解し，アイデンティティを形成する要素について、ならびに 100 年後の科学技術の予測について自分の意見を述べたり，相手からの質問に答えたりしている。 c: 質問の意図を理解し，アイデンティティを形成する要素について、ならびに 100 年後の科学技術の予測について自分の意見を伝えようとしている，	スピーキング テスト/授業内課題
		書くこと	a: アイデンティティを形成する要素について、ならびに 100 年後の科学技術の予測について，事実や自分の考えを整理して書く技能を身に付けている。 b: 写真を見て，内容の描写や状況の推測について表現している。 c: 写真を見て，内容の描写や状況の推測について表現しようとしている。	定期考査 （ライティング）・授業内課題
	中間考査			
	Lesson 3 “The Science of Sleep” Lesson 4 “Diversity and Inclusion”	聞くこと	a: 睡眠の重要性について、ならびに町や企業で多様性を促進している事例について聞き，その内容を理解する技能を身に付けている。 b: 睡眠の重要性について、ならびに町や企業で多様性を促進している事例について聞き，概要を捉えている。 c: 睡眠の重要性について、ならびに町や企業で多様性を促進している事例について聞き概要を捉えようとしている。	授業内課題
		読むこと	a: 睡眠と記憶の関係性について、ならびに文化的な多様性を促進するために重要なことについて読み，その内容を理解する技能を身に付けている。 b: 睡眠と記憶の関係性について、ならびに文化的な多様性を促進するために重要なことについて読み，概要を捉えている。 c: 睡眠と記憶の関係性について、ならびに文化的な多様性を促進するために重要なことについて読み，概要を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと	a: 睡眠の重要性について、ならびに多様性を促進する方法について，事実や自分の考えを整理して伝えたり，相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。 b: 質問の意図を理解し，睡眠の重要性について、ならびに多様性を促進する方法について自分の意見を述べたり，相手からの質問に答えたりしている。 c: 質問の意図を理解し，睡眠の重要性について、ならびに多様性を促進する方法について自分の意見を伝えようとしている，	スピーキング テスト/授業内課題
		書くこと	a: 睡眠不足によって起きる問題とその解決策について、ならび多様性を促進するために最も重要な要素について，事実や自分の考えを整理して書く技能を身に付けている。 b: 睡眠不足によって起きる問題とその解決策について、ならび多様性を促進するために最も重要な要素について，パラグラフを書いている。 c: 睡眠不足によって起きる問題とその解決策について、ならび多様性を促進するために最も重要な要素について，パラグラフを書こうとしている。	定期考査 （ライティング）・授業内課題

※令和４年度以降入学生用

	期末考査			
2	Lesson 5 “Protein Crisis” Lesson 6 “Different Types of Happiness”	聞くこと	a: タンパク源や、それらが将来不足する問題について、ならびに幸福度を測定するために用いられている要素について聞き，その内容を理解する技能を身に付けている。 b: タンパク源や、それらが将来不足する問題について、ならびに幸福度を測定するために用いられている要素について聞き，概要を捉えている。 c: タンパク源や、それらが将来不足する問題について、ならびに幸福度を測定するために用いられている要素について聞き，概要を捉えようとしている。	授業内課題
		読むこと	a: タンパク質の供給不足の問題と、それを補うための代替タンパク質について、ならびにコスタリカ・デンマーク・シンガポールに住む３人にとっての幸せの価値観について読み，その内容を理解する技能を身に付けている。 b: タンパク質の供給不足の問題と、それを補うための代替タンパク質について、ならびにコスタリカ・デンマーク・シンガポールに住む３人にとっての幸せの価値観について読み，概要を捉えている。 c: タンパク質の供給不足の問題と、それを補うための代替タンパク質について、ならびにコスタリカ・デンマーク・シンガポールに住む３人にとっての幸せの価値観について読み概要を捉えようとしている。	定期考査（リーディング）
		話すこと	a: 将来のタンパク源について、ならびに自分の幸せにとって何が大切かについて話し，事実や自分の考えを整理して伝えたり，相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。 b: 質問の意図を理解し，将来のタンパク源について、ならびに自分の幸せにとって何が大切かについて自分の意見を述べたり，相手からの質問に答えたりしている。 c: 質問の意図を理解し，将来のタンパク源について、ならびに自分の幸せにとって何が大切かについて自分の意見を伝えようとしている，	スピーキングテスト/授業内課題
		書くこと	a: 将来のタンパク源として最適なものについて、ならび自分の幸せにとって何が大切かについて，事実や自分の考えを整理して書く技能を身に付けている。 b: 将来のタンパク源として最適なものについて、ならび自分の幸せにとって何が大切かについて，パラグラフ・エッセイを書いている。 c: 将来のタンパク源として最適なものについて、ならび自分の幸せにとって何が大切かについて，パラグラフを書こうとしている。	定期考査（ライティング）・授業内課題
	中間考査			
	Lesson 7 “Pros and Cons of Utilizing AI” Lesson 8 “Kintsugi: The Art of Embracing the Imperfect”	聞くこと	a: AI ロボットが授業をすることへの賛否の意見、ならびに和紙の特長やそれを作る職人の夢について聞き，その内容を理解する技能を身に付けている。 b: AI ロボットが授業をすることへの賛否の意見、ならびに和紙の特長やそれを作る職人の夢について聞き，概要を捉えている。 c: AI ロボットが授業をすることへの賛否の意見、ならびに和紙の特長やそれを作る職人の夢について聞き，概要を捉えようとしている。	授業内課題
		読むこと	a: AI を活用したデータ分析の事例と、AI を活用する際の倫理的な問題について、ならびに金継ぎの特長や金継ぎから学べる人生の教訓について読み，その内容を理解する技能を身に付けている。 b: AI を活用したデータ分析の事例と、AI を活用する際の倫理的な問題について、ならびに金継ぎの特長や金継ぎから学べる人生の教訓について読み，概要を捉えている。 c: AI を活用したデータ分析の事例と、AI を活用する際の倫理的な問題について、ならびに金継ぎの特長や金継ぎから学べる人生の教訓について読み、概要を捉えようとしている。	定期考査（リーディング）
		話すこと	a: AI の良い点と悪い点について、ならびに日本の伝統工芸品について話し，事実や自分の考えを整理して伝えたり，相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。 b: 質問の意図を理解し，AI の良い点と悪い点について、ならびに日本の伝統工芸品について自分の意見を述べたり，相手からの質問に答えたりしている。 c: 質問の意図を理解し，AI の良い点と悪い点について、ならびに日本の伝統工芸品について自分の意見を伝えようとしている，	スピーキングテスト/授業内課題

※令和４年度以降入学生用

		書くこと	a: 社会生活においてどの程度 AI に頼るべきかについて書く、ならび日本の伝統工芸品の特長を説明する際に，事実や自分の考えを整理して書く技能を身に付けている。 b: 社会生活においてどの程度 AI に頼るべきかについて書く、ならび日本の伝統工芸品の特長を説明する際に，適切なパラグラフ・エッセイを書いている。 c: 社会生活においてどの程度 AI に頼るべきかについて書く、ならび日本の伝統工芸品の特長を説明する際に，適切なパラグラフ・エッセイを書こうとしている。	定期考査（ライティング）・授業内課題
	期末考査			
	Lesson 9 “Getting Your Message Across” Lesson 10 “Medical Ethics During a Pandemic”	聞くこと	a: 人前で話す際の言いよどみについて否定的な意見、ならびに感染症がファッションに与えた影響や、パンデミックの予防策について聞き，その内容を理解する技能を身に付けている。 b: 人前で話す際の言いよどみについて否定的な意見、ならびに感染症がファッションに与えた影響や、パンデミックの予防策について聞き，概要を捉えている。 c: 人前で話す際の言いよどみについて否定的な意見、ならびに感染症がファッションに与えた影響や、パンデミックの予防策について聞き，概要を捉えようとしている。	授業内課題
		読むこと	a: 人前で話す際の言いよどみについて肯定的な意見、ならびに医師のエドワード・ジェンナーが天然痘ワクチンを開発した際の医療倫理について読み，その内容を理解する技能を身に付けている。 b: 人前で話す際の言いよどみについて肯定的な意見、ならびに医師のエドワード・ジェンナーが天然痘ワクチンを開発した際の医療倫理について読み，概要を捉えている。 c: 人前で話す際の言いよどみについて肯定的な意見、ならびに医師のエドワード・ジェンナーが天然痘ワクチンを開発した際の医療倫理について読み、概要を捉えようとしている。	定期考査（リーディング）
		話すこと	a: 言いよどみの是非について、ならびにジェンナーの行為の是非について話し，事実や自分の考えを整理して伝えたり，相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。 b: 質問の意図を理解し，言いよどみの是非について、ならびにジェンナーの行為の是非について自分の意見を述べたり，相手からの質問に答えたりしている。 c: 質問の意図を理解し，言いよどみの是非について、ならびにジェンナーの行為の是非について自分の意見を伝えようとしている，	スピーキングテスト/授業内課題
		書くこと	a: 人前で話す際に言いよどみをすべて取り除くべきかについて、ならびパンデミックの際に、有効性が確立されていない医療を試すべきかについて，事実や自分の考えを整理して書く技能を身に付けている。 b: 人前で話す際に言いよどみをすべて取り除くべきかについて、ならびパンデミックの際に、有効性が確立されていない医療を試すべきかについて，適切なパラグラフ・エッセイを書いている。 c: 人前で話す際に言いよどみをすべて取り除くべきかについて、ならびパンデミックの際に、有効性が確立されていない医療を試すべきかについて，適切なパラグラフ・エッセイを書こうとしている。	定期考査（ライティング）・授業内課題
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度